

第三支部



第三支部だより



第三支部理事 大友 正人

余寒厳しき折、お障りなくお過ごしでしょうか。

川越市健康まつりが例年より短時間の開催ではありますが、4年ぶりの現地開催となり、第三支部でも医療画像展として参加することができました。

第2回勉強会・定時総会は4年ぶりに現地開催を予定致しております。皆さまお誘いあわせの上、ご参加いただけることを心よりお待ちしております。

親睦行事につきましては、誠に残念ではございますが感染対策のため、今年度は中止とさせていただきます。もうしばらくお待ちください。

【報告事項】

1. 第3回川越市健康まつり実行委員会
(ア) 開催日程：2023年10月27日（金）
(イ) 開催場所：川越市保健センター 3階
(ウ) 内 容：催し物、会場レイアウトについて
2. 第4回第三支部役員会
(ア) 開催日程：2023年11月20日（月）
(イ) 開催場所：埼玉医科大学国際医療センター
(ウ) 内 容：第37回川越市健康まつり、第2回支部勉強会・定時総会について
3. 第37回川越市健康まつり
(ア) 開催日程：2023年12月17日（日）
(イ) 開催場所：ウエスタ川越
(ウ) 内 容：医療画像展・被ばく相談・画像クイズなど
4. 第3支部新年会（例年1月頃開催）は感染対策と致しまして中止とさせていただきます。

【今後の予定】

1. 第4回川越市健康まつり実行委員会
(ア) 開催日程：2024年2月8日（木）
(イ) 開催場所：川越市保健センター 3階
(ウ) 内 容：振り返り・今後の実施方法について
2. 第2回第三支部勉強会・定時総会
(ア) 開催日程：2024年3月14日（木）
(イ) 開催場所：ウエスタ川越 活動室1
(ウ) 内 容：勉強会・定時総会（詳細は第三支部ホームページにてお知らせ致します。）

第三支部の活動の詳細は、ホームページ（<http://saitama3shibu.jimdo.com/>）をご覧ください。

第四支部

深谷市福祉健康まつり 参加報告

第四支部 柏瀬 義倫・大野 渉

2023年10月29日（日）、深谷市総合体育館（深谷ビッグタートル）で、第18回深谷市福祉健康まつりが開催されました。

昨年までは新型コロナウイルスの影響で開催の中止や他会場での縮小開催が続いていましたが、4年ぶりに例年に近い形での開催となり、私たちも4年ぶりの参加となりました。

活動内容も以前と同様に「骨密度測定」をメインに、「医療画像展」「スーパーボールすくい」を催しました。

久しぶりの参加ということもあり、準備に手間取ったり、イレギュラーなこともありましたが、終わってみれば400人を超える市民のかたがたに会場していただき、大変盛況のうちに終えることができました。

今後もこのような公益活動を通して、診療放射線技師の職種・役割の普及をしつつ、多くのかたがたの健康に寄与していきたいと思えます。



第18回 深谷市福祉健康まつり実行委員

会員名	施設名	会員名	施設名
大野 渉	羽生総合病院	田中 智大	熊谷総合病院
柏瀬 義倫	深谷赤十字病院	山崎 貴雄	東松山市民病院
高井 太市	小川赤十字病院	齋藤 幸夫	深谷赤十字病院
山田 伸司	小川赤十字病院	佐藤 綾香	深谷赤十字病院
大谷 智則	行田総合病院	小林明日香	深谷赤十字病院

第六支部

～ Lock on ～

埼玉県診療放射線技師会

第六支部

1. 巻頭言
2. 第2回定期講習会 報告書

巻頭言

より身近になった医療情報について

埼玉県立がんセンター 安東 千尋

皆さんは、医療情報についてどのくらい知っていますか。

近年、私たち放射線部門内でも急速にデジタル化が進み、医療情報について考えさせられる機会が増えてきたように感じます。

そもそも医療情報とは、医療に関するさまざまなデータや知識のことを指します。種類としては、レセプトデータ（診療報酬明細書）、電子カルテデータ、DPCデータ（診療行為と病院管理）、健康診断データ、リアルワールドデータ（医療現場で得られるデータ）など多種多様です。

さらに近年では医療分野の情報化が推進され、今まで紙などでやり取りしていた院内業務や病院間における情報連携に対しICTを活用したネットワークを構築することで、地域格差をなくした質の高い医療の提供を目指す取り組みも行われています。

私たちの身近な医療情報としては、各モダリティにおける検査時の患者情報の取得、依頼情報と該当画像との結び付けなど、全ての検査において医療情報が使用されています。普段当たり前のようになっているこの医療情報ですが、そもそも医療情報は、正確で信頼性のある情報である必要があります。誤った情報は患者の健康に害を及ぼす可能性があるため、医学的なエビデンスに基づいているか、信頼性のある医療機関や専門家から提供されているかを確認することが大切です。

ここ最近では、10月31日に医療機関における大規模なサイバー攻撃（ランサムウェア）が発生しています。電子カルテが動かなくなったり、病院内のプリンターから永遠に犯行声明が記載された用紙が印刷されるなど、現在の医療システムが稼働しなくなり、通常診療すら行えなくなってしまう事態が起きているそうです。

私たち診療放射線技師は、放射線の専門家であるとともに医療情報を含む機械類を扱う職種でもあります。これを機に、普段使っているパソコンや検査に使用している機器類の医療情報の安全を確保するためにどのようなことに注意すべきか考えるきっかけになったらうれしいです。

医療情報は私たちの生活に欠かせない要素であり、正確な情報に基づいて健康に関する重要な決定を下すのに役立ちます。そのため、情報源の信頼性を確認し、自身の健康とプライバシーを保護しながら、医療情報を活用することが大切です。

第六支部 第2回定期講習会 報告書

報告者 上尾中央総合病院 仲西 一真

日 時：2023年11月29日（水）19：00～21：00

会 場：上尾中央総合病院（臨床研修センター）

参 加 人 数：25人（役員・演者含む）

講習会テーマ：各施設での救急撮影の取り組み

白岡中央総合病院の救急撮影の取り組み

白岡中央総合病院 田中 啓太

丸山記念総合病院の救急撮影の取り組み

丸山記念総合病院 黒住 奈那

上尾中央総合病院の救急撮影の取り組み

上尾中央総合病院 齊藤 里奈

さいたま赤十字病院の救急撮影の取り組み

さいたま赤十字病院 大川斗喜也

総合ディスカッション

司会 さいたま北部医療センター

各施設での救急撮影への取り組みや、演者自身の経験談を紹介した後、参加者全員でディスカッションを行った。ディスカッションでは撮影プロトコル、検査室の運用、教育システムの紹介や、問題点の共有などがテーマとして進んだ。

撮影を工夫した症例や、まれな疾患をリスト化し、部署内カンファレンスを開催することで撮影スキルの向上に活用する取り組みが紹介され、その具体的な運用方法や課題を共有した。

近年、新型コロナウイルスの流行によりWeb開催が続いていたが、前回の定期講習会から集合型で開催している。さまざまな施設から多くの方にご参加いただき、実際に顔を合わせて意見を交えることで賑わいのある講習会であった。